

第86回 東京都卸売市場審議会

中央卸売市場経営計画の改定に向けて

令和 7 年 9 月 8 日
東京都中央卸売市場

目次（第86回東京都卸売市場審議会資料）

I はじめに 1

- ・ 経営計画改定の議論の始まりに当たり
- ・ 本日の議論の進め方

I 経営計画に基づく取組の状況について 4

- ・ 「東京都中央卸売市場経営計画」（令和4年3月）の概要
- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1 市場全体の機能の最適化と各市場の機能強化 | 4 基幹的なインフラとしての機能の強靱化 |
| 2 市場施設の計画的な維持更新 | 5 市場取引の活性化に向けた取組の強化 |
| 3 強固で弾力的な財務基盤の確保 | 6 市場事業のサステナブル化 |

II 中央卸売市場を取り巻く環境の変化 12

- ・ 卸売市場における取引の現状
- | | |
|--------------|--------------|
| 1 人口減少・少子高齢化 | 3 物価の高騰 |
| 2 気候変動 | 4 先端技術の進歩と活用 |

III 経営計画の改定の進め方 21

- | |
|------------|
| 1 検討体制（案） |
| 2 全体スケジュール |

参考資料 24

はじめに

経営計画改定の議論の始まりに当たり

- **東京の中央卸売市場は、長年にわたり都民の豊かな消費生活を下支えする重要な役割を果たしてきた。一方で、少子高齢化や人口減少、消費行動の多様化などに伴い取扱数量の減少や流通チャネルの多元化が進むなど、卸売市場を取巻く環境は大きく変化**
- このような状況を踏まえ、引き続き中央卸売市場としての役割を果たせるよう、都は、令和4年3月に「**東京都中央卸売市場経営計画**」を策定し、現在、**市場業界と協力して各種施策を推進**
- これまで、各市場の特色等を生かした**施設整備**や補助金等の活用による**市場業者の経営改善**などに取り組んでおり、**具体的な進捗**が見られる一方で、財政健全化の取組など緒についたばかりのものもあり、**更なる加速が必要**
- **加えて、足元では、急速に進む人手不足、物価高騰によるコストの増加、DX等の最新技術の活用等、今後の市場経営において避けることができない課題が、深化・先鋭化**
- **将来にわたって、東京の中央卸売市場が、生鮮品等流通の中核的担い手としての役割を果たすためには、山積する課題に継続的に取り組むことはもとより、刻々と変化し続ける社会経済環境に的確に対応し、新たな領域の課題にも果敢に挑戦することが不可欠**
- その**対応を怠れば、中央卸売市場としての存在意義が問われることに**
- こうした**危機意識**を、市場運営に携わる**すべての関係者で共有**しながら、「**あるべき中央卸売市場の姿**」を追求し、**次期経営計画の策定に着手**

本日、ご議論いただく内容

I 経営計画に基づく取組の状況について

「**東京都中央卸売市場経営計画**」（令和4年3月）に基づく取組の進捗状況等を、同計画の体系に沿ってご確認いただくとともに、**今後の課題**や**進め方**などについて、ご議論いただく。

II 中央卸売市場を取り巻く環境の変化

少子高齢化・人口減少等の**人口動態の変化**、**気候変動**、**物価高騰**、**生成AIやDX等の技術進歩**など、**生鮮品等の生産**や**物流・流通**に様々な影響を及ぼす**環境の変化**をご確認いただくとともに、こうした**変化に対応し得る卸売市場のあり方**などについて、ご議論いただく。

III 経営計画の改定の進め方

経営計画の改定に向けた**検討体制**や**検討スケジュール**などについて、ご確認・ご議論いただく。

I 経営計画に基づく取組の状況について

「東京都中央卸売市場経営計画」（令和4年3月）の概要

- 都は、**令和3年3月**に、中央卸売市場が、都民に生鮮品等を円滑かつ安定的に供給する基幹的なインフラとしての役割を、将来にわたって果たすことができるよう、**今後の市場経営のビジョンを示す**ものとして、「東京都中央卸売市場経営指針」を策定
- 経営計画は、指針で掲げた「2040年代の中央卸売市場の姿」及び「持続可能な市場経営」の実現に向けて、**令和4年度から令和8年度までの5年間を計画期間**とし、都が取り組む施策と財政計画を示す**中期経営計画**（計画の体系は下図のとおり）

【経営計画の体系】

市場経営の基本的な考え方
（都の3つの立場）

<開設者>

- ・機能の最適化
- ・各市場の機能強化

<施設管理者>

市場施設の計画的な維持更新

<市場会計の管理者>

強固で弾力的な財務基盤の確保

市場の活性化に向けた取組

基幹的インフラとしての機能の強靱化

市場取引の活性化に向けた取組の強化

市場事業のサステナブル化

財政見通し

長期収支

財政収支計画

1 市場全体の機能の最適化と各市場の機能強化

1 計画要旨

生鮮品等流通の基幹的なインフラとして都民の消費生活を支えるため、**各市場の特色等に応じた機能強化**を図るとともに、**11市場が形成しているネットワークを強化**し、市場全体として最適な機能を発揮

2 これまでの取組状況と主な取組等

- 淀橋市場や板橋市場などの市場で各市場の特色等に応じた**機能強化を図る施設整備が具体化**
- 機能強化に際し、**無人搬送機などの最新技術**を活用した**荷役作業の迅速化・省力化**も推進
- **特定市場への荷の集中**などの課題が顕在化しており、**ネットワーク機能の発揮**は取組の**深化が必要**

【淀橋市場拡張整備事業】

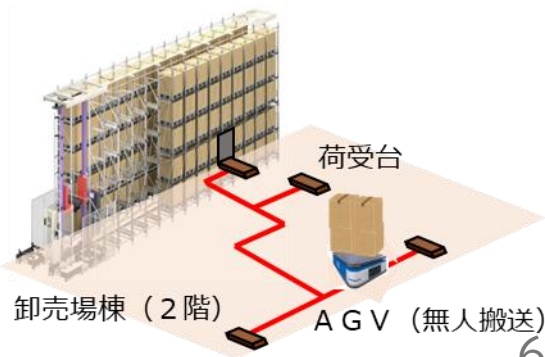
- 老朽化した総合事務所棟の建て替えにあわせ、加工・パッケージエリア、低温卸売場を整備し機能拡張
- 狭隘な敷地を有効活用した業界による物流効率化に向けた取組（無人搬送等による物流DX）を後押し

【板橋市場の機能強化】

- 周辺市場との機能集約も視野に入れ、区部北西部の青果物流通の広域拠点としての機能強化を推進
- 令和6年度までに機能強化に向けた方向性などをまとめた「板橋市場機能強化事業に係る基本計画」策定

<新総合事務所棟（仮称）>

<無人搬送等によるDX>



<機能強化に向けた6つの方向性>

① 生鮮食料品の品質管理向上

④ 物流拠点化

② 取引先の需要への対応

⑤ ニーズ変化等への柔軟な対応

③ DX等による物流効率化

⑥ 地域との共生推進

2 市場施設の計画的な維持更新

1 計画要旨

施設管理者の立場から、各市場における**市場施設の類型に応じて**、個々の建物の**改修・改築などの更新手法や予防保全の考え方**を示し、**施設の計画的な維持更新**を推進

2 これまでの取組状況と主な取組等

- **令和4～5年度**に、全市場（豊洲市場を除く）の**主要な建物（52棟）を対象とした劣化度調査**を実施し、**令和6年度**に、今後20年間で想定した「**整備手法と維持更新計画策定方針案**」を作成
- **年間約570件（約30億円）以上の維持更新工事を実施**（R1～5年度の平均）。工事は、市場関係者と調整の上、**市場運営に支障のないよう**予防保全・事後保全の両面から**施工**
- 今後は、物価や人件費の上昇に伴い**工事費が高騰する中**にあって、**施設や設備の利用状況の実態に即した維持更新の進め方**について検討する必要

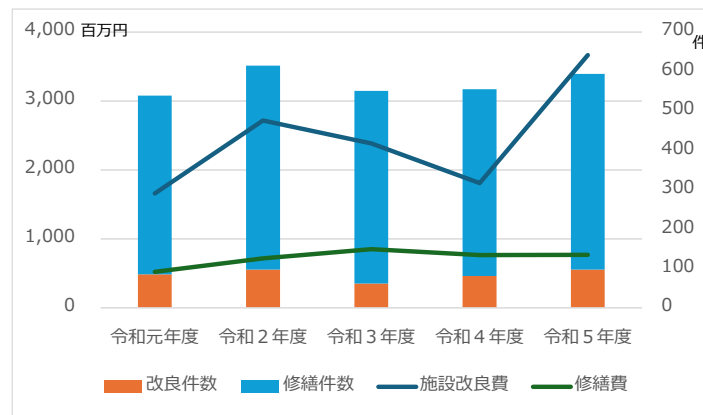
【建物毎の維持更新計画案（抜粋）】

名称 (主要建物)	分類	2026年 3月末時点 経過年数	耐震 基準	年 度				
				2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12
青果棟	改修	37	新耐震	屋根、外壁、 サッシ、シャッター、 電源設備		高圧変電設備	高圧ケーブル、 照明設備	高圧変電設備、 高圧ケーブル、 給排水衛生設備
				改修		改修	改修	改修



計画年		更新基準年度	1	2	3
青果棟 分類 改修 (新耐震： 維持更新施設)	防水	R3			
	屋根	S63	改修		
	外壁	S63	改修		
	サッシ	S63	改修		
	シャッター	スチールシャッター：S63他	改修		
	高圧変電設備	S63			改修
	高圧ケーブル	S63			
	電源設備	R5他	改修		
	照明設備	かぶ・たけのこ：H30他			
	給排水衛生	S63			
	昇降機	R2			

【維持更新経費（令和元～5年度）】



3 強固で弾力的な財務基盤の確保

1 計画要旨

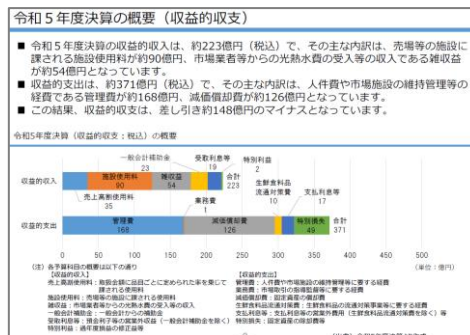
目指すべき財務基盤の水準である**市場会計の経常黒字化に向けて**、市場会計の現状と課題を整理した「**経営レポート**」を作成し、更なる**経営改善策の実施**などを推進

2 これまでの取組状況と主な取組等

- 市場会計の状況などを管理会計の手法により精緻に把握・分析した「**経営レポート**」を**令和6年から毎年作成・公表**
- この「経営レポート」も活用し「**市場会計の財政状況と都の経営改善の取組等**」をテーマに**業界との意見交換**を実施するなど、**都と業界との間で経営改善に要する使用料を含めた課題の明確化等の議論に着手**
- 市場施設の整備や経営支援等の**市場の活性化に向けた取組**と、それに必要な**財政基盤の確保の重要性**について、**業界と共有**
- 植栽管理等の委託経費の見直しやＬＥＤ化の推進による電気料金の削減など**市場運営経費を縮減**するための取組も推進

【経営レポートも活用し市場業界と意見交換】

【経営改善の取組（植栽管理・LED化）】



4 基幹的なインフラとしての機能の強靱化

1 計画要旨

中央卸売市場が、今後も生鮮品等流通の基幹インフラとして機能できるよう、**市場流通に対する信頼性の向上やサプライチェーンの結びつきの強化、市場業者の経営基盤の強化**に取り組む。

2 これまでの取組状況と主な取組等

- **公平・公正な取引環境の確保**のため、取引参加者への**指導監督体制**を研修等で強化するとともに、**品質衛生管理**を徹底するための**市場業者向けの講習会**や必要な**施設整備**を推進
- **画像解析技術**を活用した**物流効率化**や**セキュリティ強化**を図る実証実験を行うなど、**D X**を推進
- 市場業者の意欲ある取組を**補助事業**で支援するとともに**先進事例の水平展開**に努めるほか、**経営相談**や**専門家と連携した情報発信**などにより、**市場業者の経営基盤の強化**を促進
- 生成A I等をはじめとする**先端技術の発展**は著しく、最新の技術動向を踏まえて積極的に活用し、**市場取引の信頼性向上や活性化、市場業者の経営基盤の強化**につなげる必要

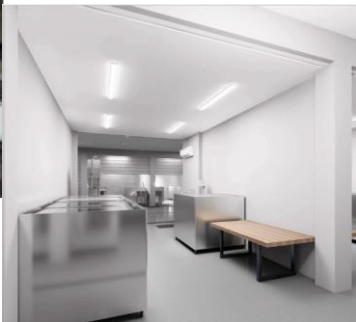
【指導監督に係る職員研修】



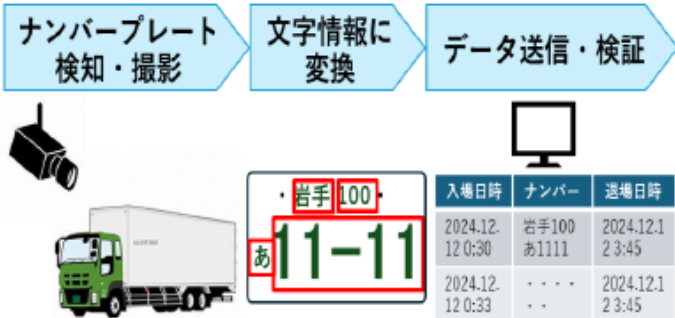
【衛生対策工事】



（足立市場）



【画像解析によるセキュリティ強化】
（大田市場）



5 市場取引の活性化に向けた取組の強化

1 計画要旨

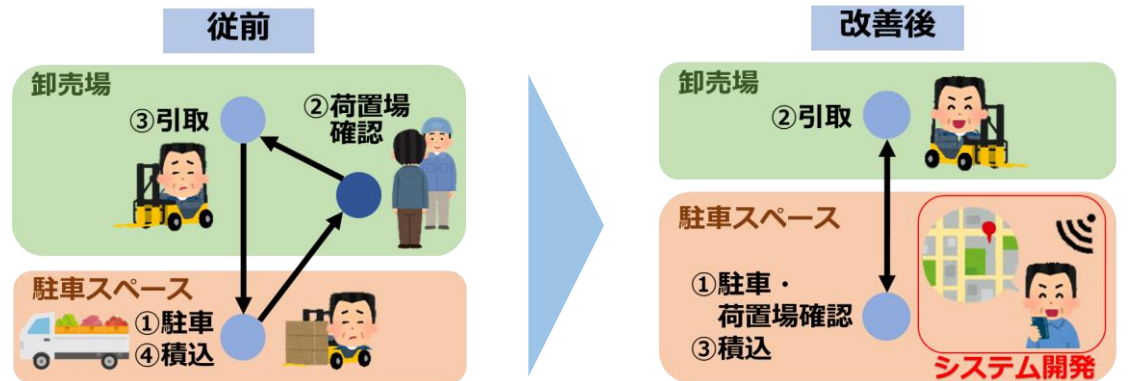
技術の進歩や消費者の嗜好の変化などがある中であっても、市場取引が活性化するように、**物流や商流の高度化・効率化**を図るとともに、**多様な消費者ニーズへ対応**するための取組を推進

2 これまでの取組状況と主な取組等

- **スマホ上で買受人に荷の置き場を案内するサービスの提供等**、先駆的な取組を業界と進めるほか、施設整備を機に、**市場をストックポイントで活用する検討**を始めるなど、物流効率化の取組を推進
- また、**ECサイト（B to B）を用いた販路拡大**に取り組む市場業者を、**補助事業等により後押し**するなど、商流の高度化・効率化に対応した取組を推進
- こうした取組は**一部の市場や市場業者にとどまっております**、物流問題や人材確保の困難性が、社会的な課題となる中、**市場全体の取組となるよう更なる拡大を図る必要**

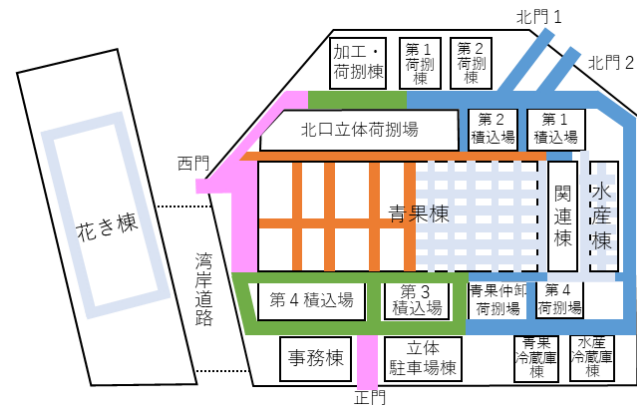
【買受人への荷の置き場案内サービス・物流効率化に向けた通信基盤整備（大田市場）】

青果卸3社で開発した「荷置場案内システム」（R7年3月から稼働開始）



▶ 都は、補助事業等によりシステム開発を支援

通信基盤（Wi-Fi）整備



6 市場事業のサステナブル化

1 計画要旨

ゼロエミッション化などの環境問題への対応や、地域社会との共生、働き方改革の推進など、中央卸売市場として、社会的な要請に対応するための取組を推進

2 これまでの取組状況と主な取組等

- 太陽光発電設備の導入や照明のLED化など市場施設における環境配慮の取組を推進するとともに、省エネ型グリーン冷媒機器の導入経費への補助等により、市場業者の取組も後押し
- 市場を地域住民にも開放する市場まつりの開催や、市場業者のノウハウを生かした食育・花育教室を開催するなど、地域社会との共生を図る取組を推進
- 働き方改革の社会的な要請も考慮した休開市日の設定などの取組も進めているが、一方で、人材確保が困難な状況は続いており、市場機能を維持する観点からも、さらなる取組が必要

【省エネ機器への補助】



【市場まつり】
(豊洲市場)



【食育・花育事業】
(北足立市場・大田市場)



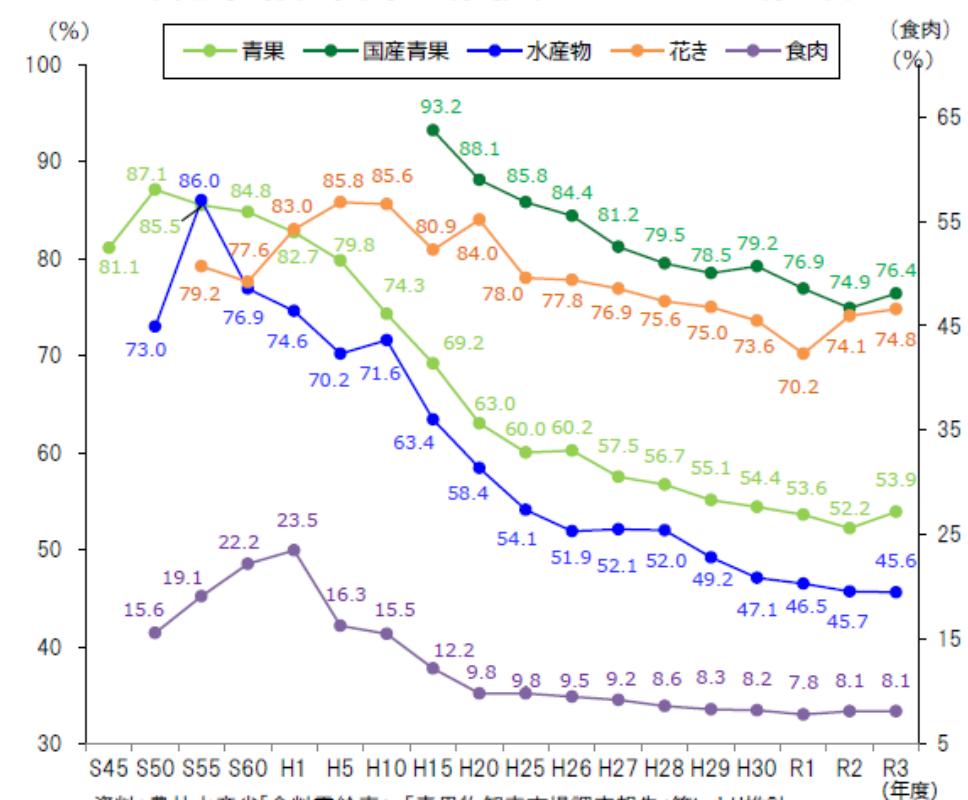
Ⅱ 中央卸売市場を取り巻く環境の変化

卸売市場における取引の現状

- 卸売市場経由率は、花きはおおむね横ばいだが、青果物、水産物、食肉は漸減傾向で推移
- 都の中央卸売市場における取扱数量は、水産物、青果物ともに年々減少
(対H27比 【水産物】 約32.5%減 【青果物】 約17.5%減)

我が国における卸売市場経由率の推移

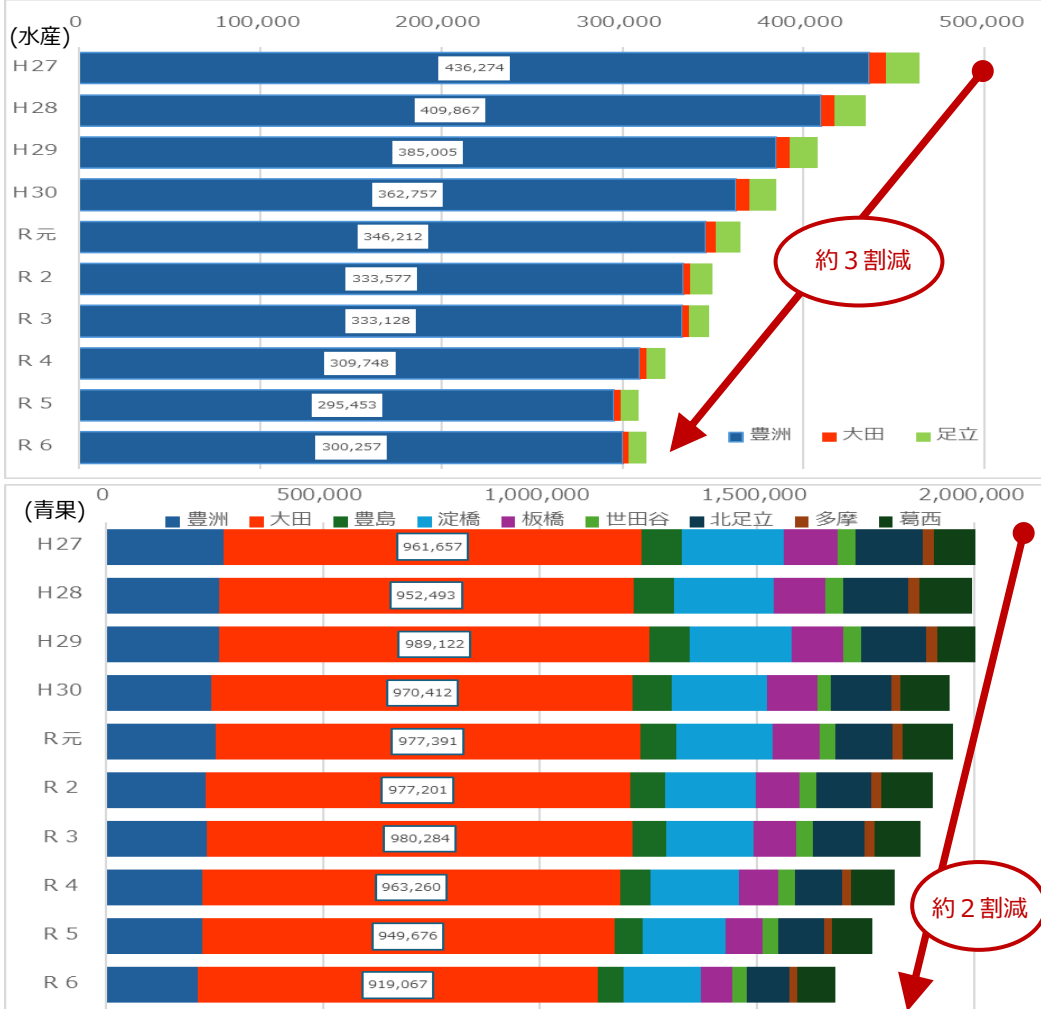
■卸売市場経由率の推移(重量ベース、推計)



資料：農林水産省「食料需給表」、「青果物卸売市場調査報告」等により推計
注：卸売市場経由率は、国内で流通した加工品を含む国産及び輸入の青果、水産物等のうち、卸売市場(水産物についてはいわゆる産地市場の取扱量は除く。)を経由したものの数量割合(花きについては金額割合)の推計値。

(出典)「卸売市場をめぐる情勢について」農林水産省

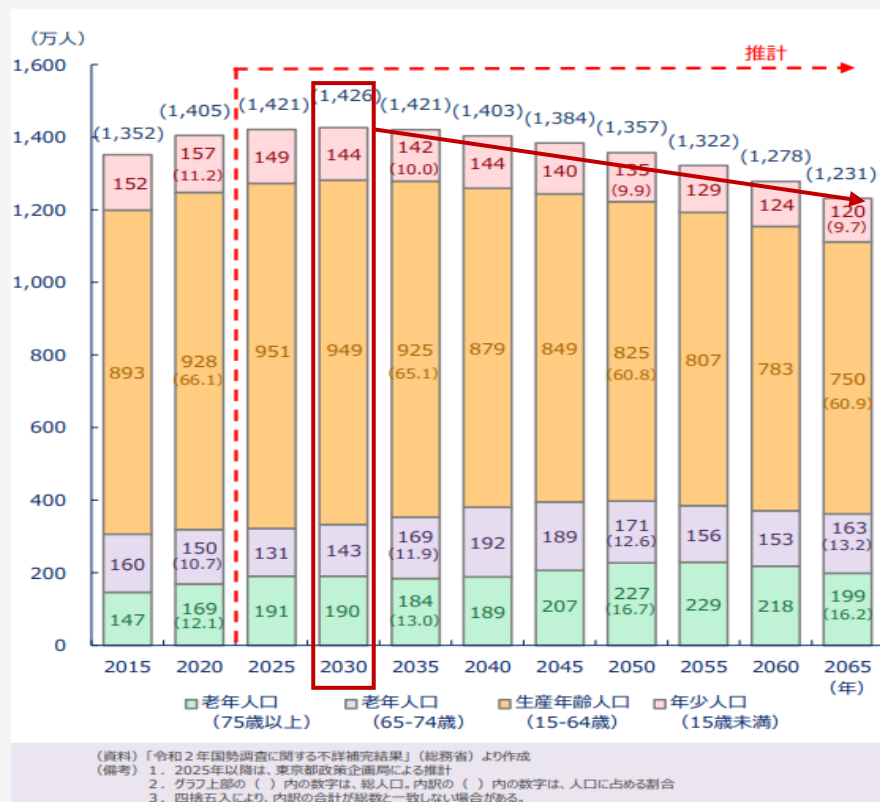
都の中央卸売市場における取扱数量/トン(水産物、青果物)



1 人口減少・少子高齢化

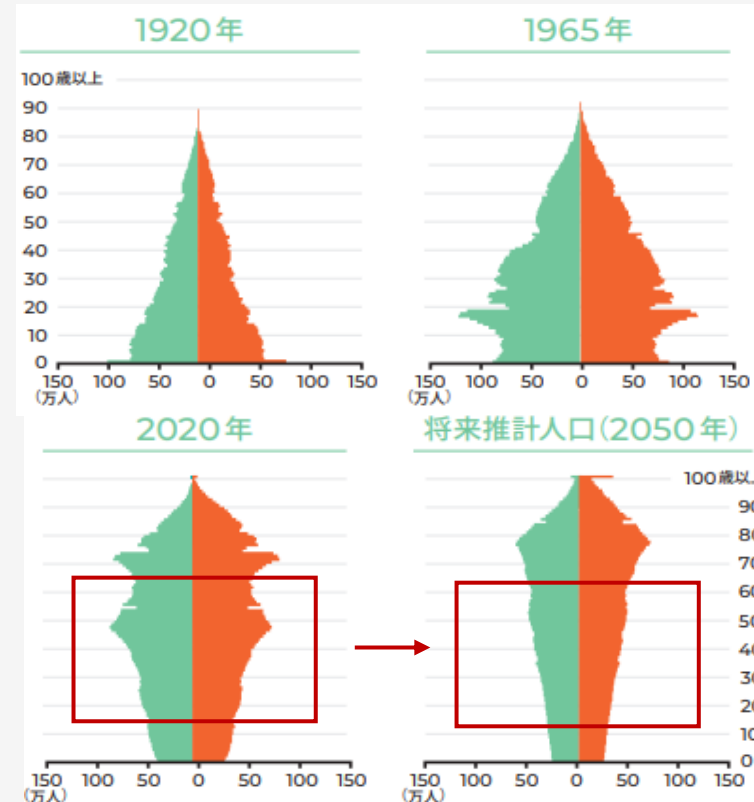
- 日本の総人口は既に減少局面にあり、**東京都の人口も2030年をピークに減少**に転ずる見込み
- **生産年齢人口の占める割合も、2050年には大幅に減少**することが予測されている。

東京都の人口及び年齢階級別人口の推計



(出典)「2050東京戦略 附属資料 東京の将来人口」東京都

日本の人口ピラミッド



【卸売市場に係る論点】

- ・ 人口構成の変化に伴う**生産者や消費者の量的・質的両面の変化に対応できるのか？**
- ・ 物流などサプライチェーンや市場取引における**担い手の不足にどう向き合うのか？**

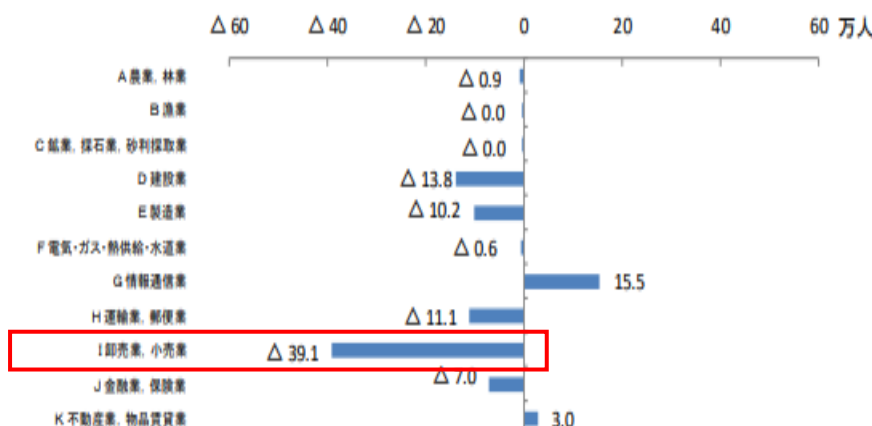
(参考) 卸売業・小売業の就業者予測、ドライバー不足

- 都の就業者予測では、**2040年の卸売業・小売業の就業者数は、対2015年比で約40万人弱の減少**
- ドライバーの有効求人倍率は高止まり、2030年には**輸送能力や輸送量の不足が一層拡大**する見込み

卸売業・小売業者の就業者予測

図2-2 東京都の産業別 15歳以上昼間就業者数の増減数

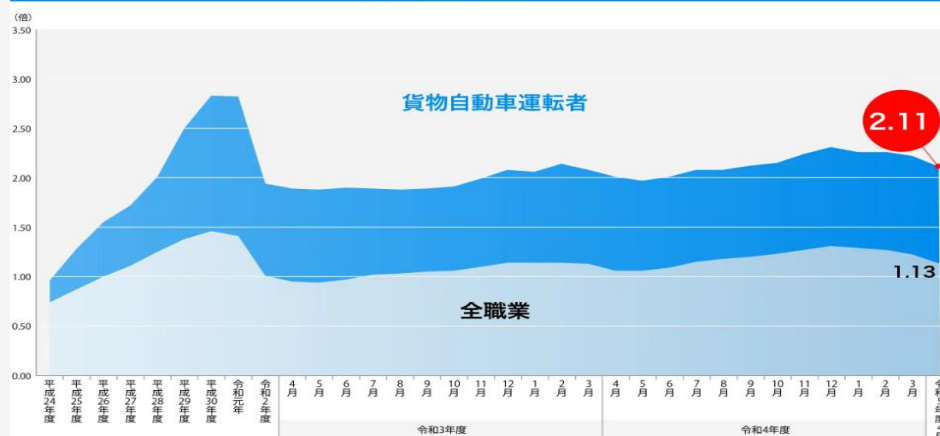
— 平成 27(2015)年* → 令和 22(2040)年 —



(出典)「東京都就業者数の予測」東京都の一部を抜粋

ドライバー不足（物流2024年問題）

有効求人倍率の推移について



不足する輸送能力の割合



不足する営業用トラックの輸送トン数



(出典)「知っていますか、物流の2024年問題」公益財団法人全日本トラック協会HP

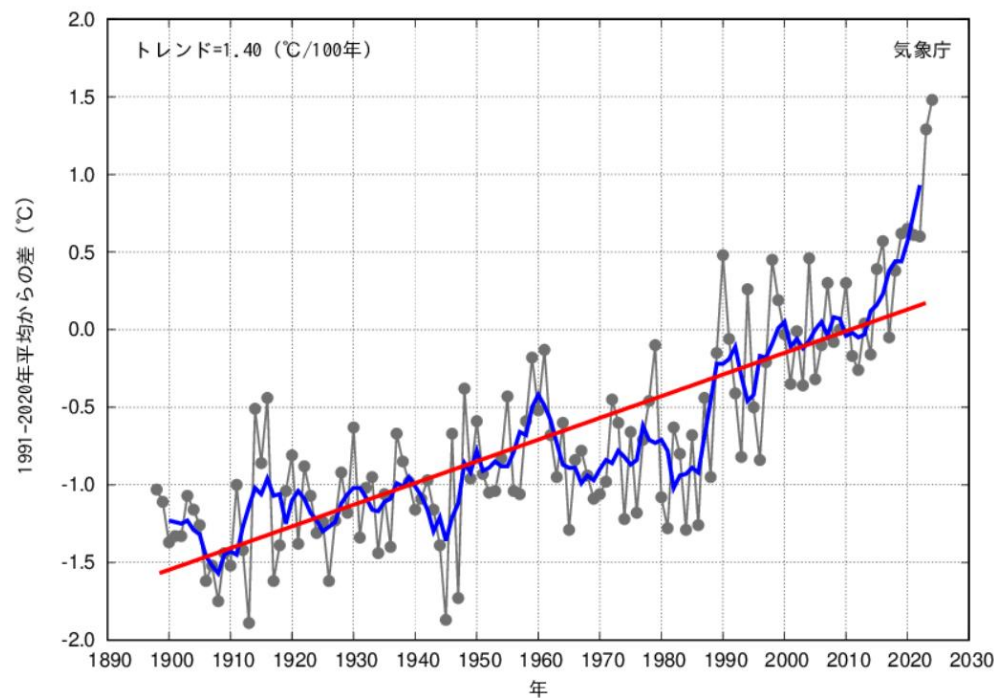
【卸売市場に係る論点】

- ・ 市場における**働き手の不足**が見込まれる中、**市場業務のあり方は今のままでいいのか？**
- ・ ドライバー不足に伴って**物流のあり様**が**変化**した時、**卸売市場はソフト・ハードの両面において対応できるのか？**

2 気候変動

- 日本の年平均気温は変動を繰り返しながら上昇し、長期的には**100年あたり1.4℃の割合で上昇**
- 日本における**豪雨の発生回数は**漸増傾向にあり、直近では**年間300回を超える豪雨が発生**

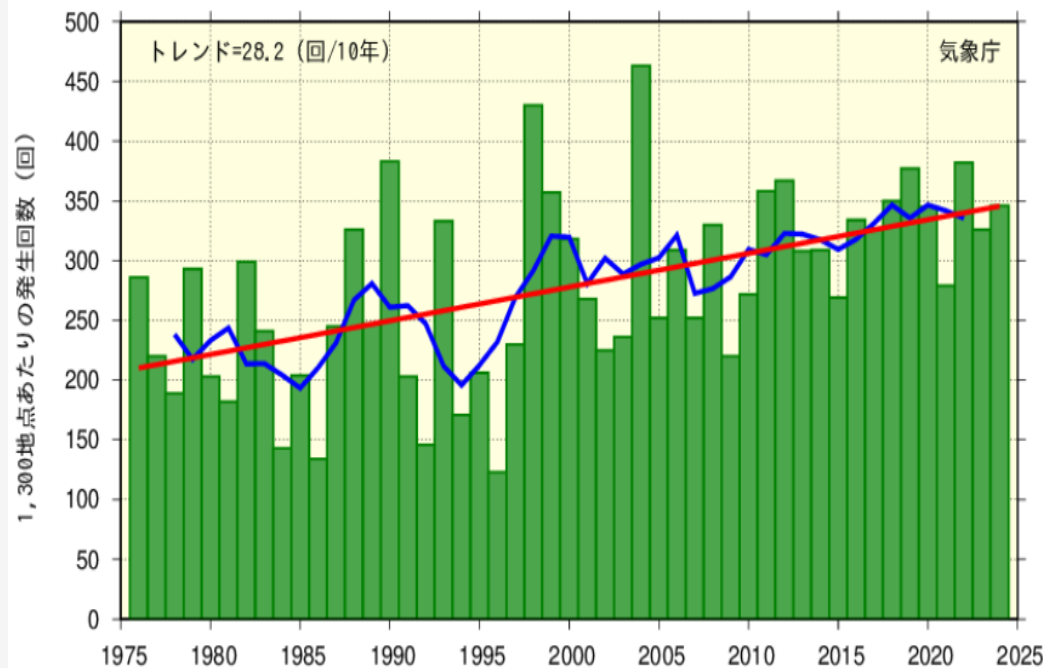
日本の平均気温偏差の推移



細線 (黒) : 各年の平均気温の基準値からの偏差、太線 (青) : 偏差の5年移動平均値、直線 (赤) : 長期変化傾向。
基準値は1991~2020年の30年平均値。

(出典) 「日本の年平均気温偏差の経年変化 (1898~2024年)」 国土交通省

1 時間降水量50mm以上の年間発生回数 (全国)



(出典) 「大雨や猛暑日など (極端現象) のこれまでの変化」 国土交通省

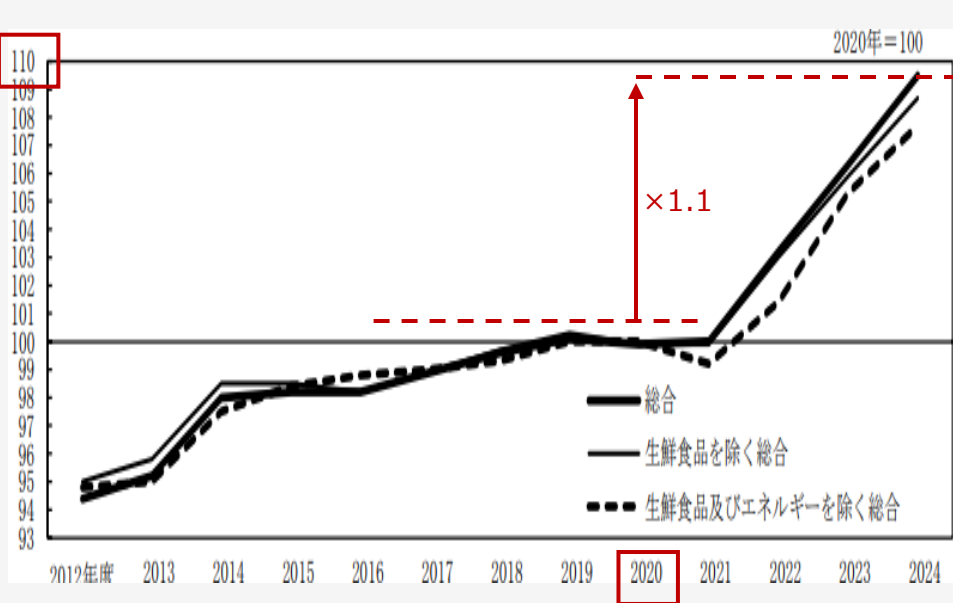
【卸売市場に係る論点】

- ・ 気候変動に伴う**生鮮品等供給の不安定化**や**品質管理の問題**に加え、**労働環境の変化等**に**適切に対応**できるか？
- ・ **災害が発生**した場合でも、**生鮮品等流通の中核機能を維持するための備えは万全**か？

3 物価の高騰

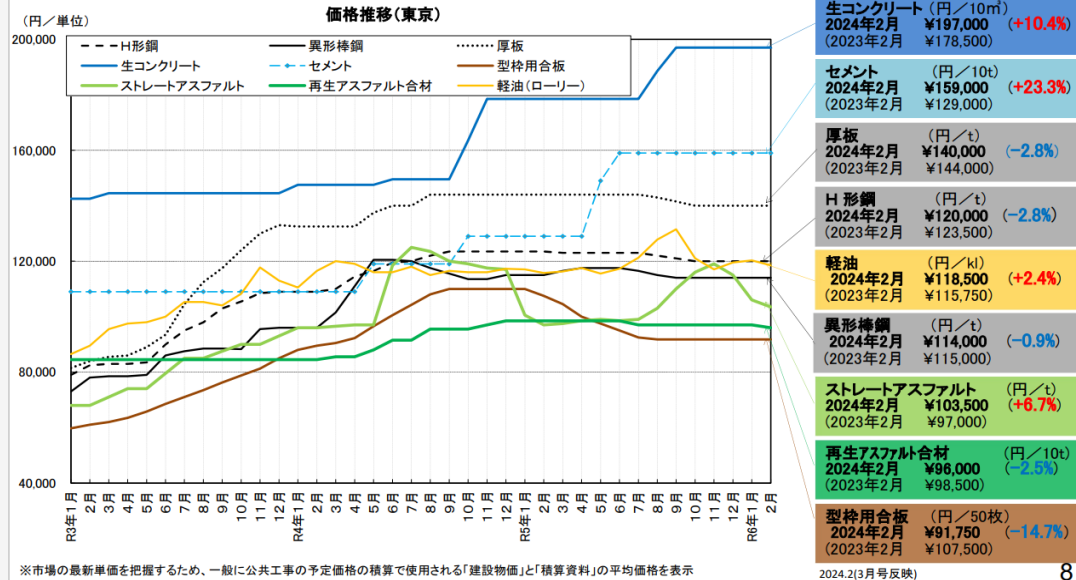
- 消費者物価指数は近年大幅に伸長し、2024年の指数は**対2020年比で 1 割弱も増加**
- 主要な**建設資材の価格**や設計等に係る**人件費**についても、物価高騰の動きと同様に**大幅に伸長**

消費者物価指数（令和 6 年度平均）



（出典）「2020年基準消費者物価指数」総務省

主要建設資材などの価格推移



設計業務委託等（設計、測量、地質関係）

◆ 最近の給与等の実態を適切・迅速に反映

➡ 全職種平均 49,570円 R6年3月比；+5.7%
(平成24年度比+58.6%)

（出典）上段「最近の建設業を巡る状況について」、下段「令和7年3月から適用する設計業務委託等技術者単価について」国土交通省

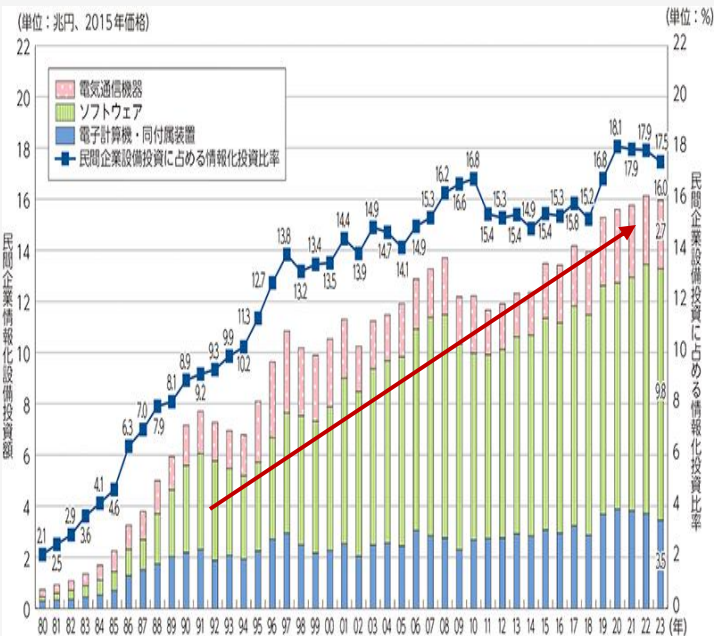
【卸売市場に係る論点】

- ・ 物価の高騰は、支払い給与や支払金利の上昇等を通じて、**市場業者の経営に影響が及ぶ**おそれがあるが、**十分な経営体力を確保**できているか？
- ・ 工事費や委託経費等の増大が見込まれる中、**市場会計の健全性を保てる**のか？

4 先端技術の進歩と活用

- 民間企業における情報化投資は着実に増加し、AI・IoT等のサービスを導入する動きも拡大
- 国内の物流に係るロボティクスの市場規模は、2030年度には2023年度の約3倍まで増大する予測

我が国の情報化投資の推移

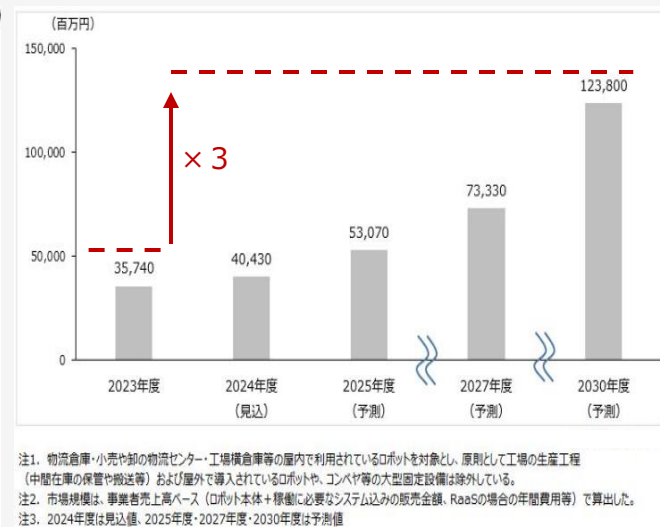


(出典) 「令和7年度情報通信白書データ集」総務省

AI・IoT等のシステム・サービスの導入状況



物流ロボティクスの国内市場規模予測



(出典) 「物流ロボティクス市場に関する調査（2025年）」株式会社矢野経済研究所（2025年3月11日発表）

【卸売市場に係る論点】

- 情報技術等の進歩が著しい中、物流・商流はこの流れに即したものとなっているのか？
- 荷捌き等の労働集約型業務への対応が不可避な一方で、担い手不足が見込まれる状況にあって、先端技術に対しどのように向き合っていくのか？

これからの卸売市場はどうあるべきなのか？

- そもそも**卸売市場の存在意義**とは何なのか？**今後必要**とされているのか？
市場を巡る**環境が大きく変化する今**、なお、**存在意義は不変**なのか？
- **なぜ公共部門として設置**されているのか？その**必要性は変わり**ないのか？
- **開設者・市場業者として**、卸売市場のあり方は**今のままでよい**のか？
卸売市場は、将来にわたって**持続可能なもの**となっているのか？

卸売市場はこれまでも**時代の変化に応じてその役割を進化**させてきた**歴史**がある。

【時代背景と卸売市場に求められてきた役割】

江戸～大正

- ・幕府の需要に対応しつつ、一般庶民に魚を販売
- ・同業者間の競争や取引の乱れ、不十分な衛生管理

昭和前期

- ・戦費増大によるインフレに伴う、卸売価格の高騰
- ・配給統制規則の公布により、市場機能が事実上停止

昭和後期（高度経済成長）

- ・戦後復興と日本経済の高度成長
- ・都市化、人口集中による需要増大

～ これまで

- ・流通チャネルの多元化や技術発展・情報化進展
- ・消費の成熟化によるニーズの多様化

これから

- ・急激かつ予測できない、社会・天候・技術の変化
- ・少子高齢化や人口減少による需要減少

公平公正な取引、衛生管理

戦時下における生鮮品等の配給拠点

増大する消費需要への安定供給

安全・安心をはじめとしたニーズへの対応

これからの市場のあり方は？

Ⅲ 経営計画の改定の進め方

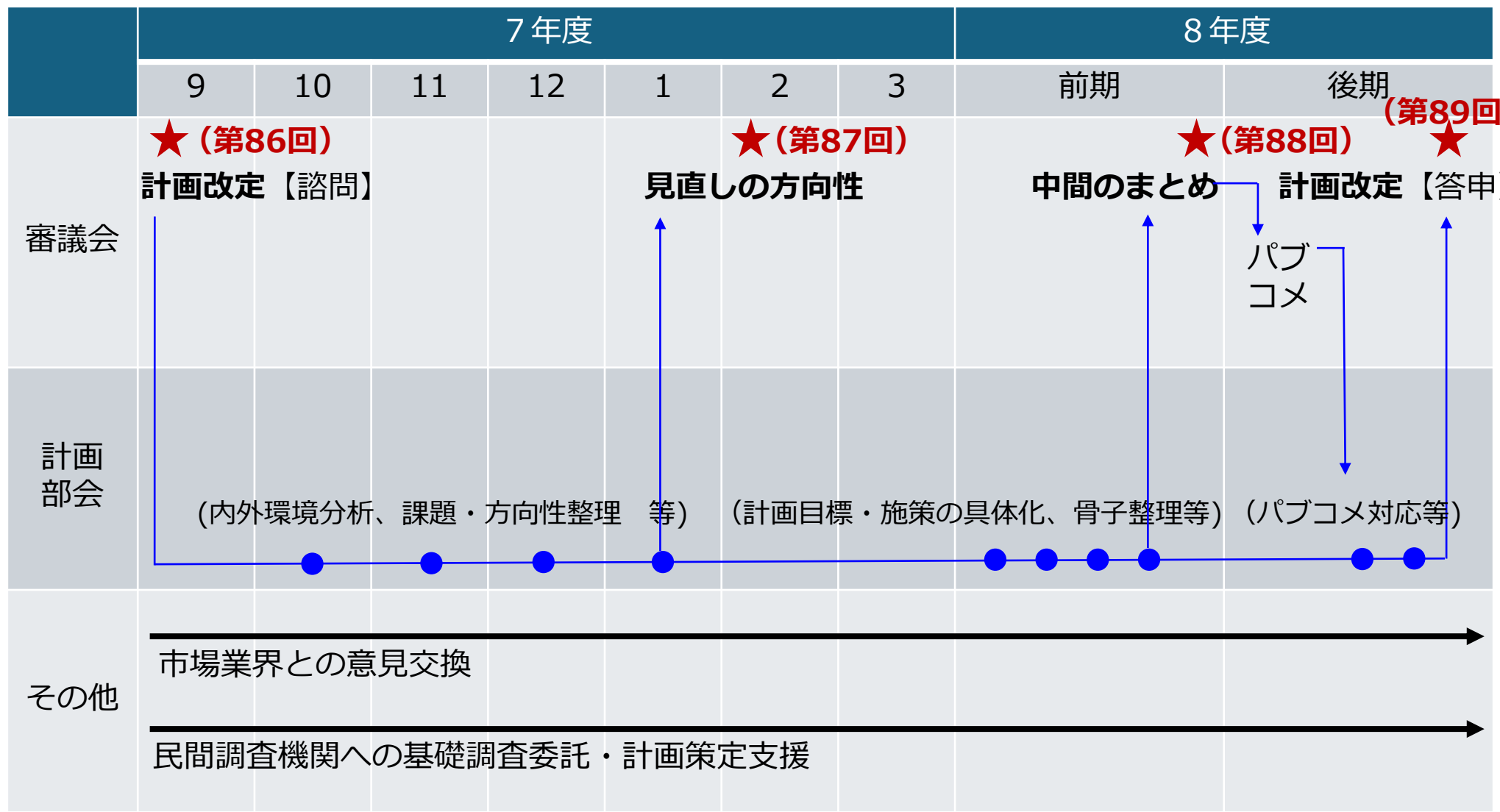
1 検討体制（案）

- 計画の改定に向けた議論を機動的かつ専門的に行うため、審議会条例に基づき「計画部会」を設置
- 部会は、審議会委員のうち学識経験者の5名に依頼

【計画部会の開催日程及び議題（予定）】

回数	開催日程	議 題
第1、2回	令和7年10月 ～11月	都の中央卸売市場の現状と課題の整理 → 経営計画の取組状況や市場を取り巻く環境について、民間調査機関への調査委託も活用し、現状と課題を整理
第3、4回	12月 ～令和8年1月	計画改定に向けたテーマ設定や取組の方向性等の整理 → 課題を深掘りし、次期計画のテーマや全体構成・取組の方向性をとりまとめ。第87回卸売市場審議会へ報告
第5～8回	5月～8月	施策内容の具体化及び計画骨子 → 次期計画のテーマや取組の方向性に基づき、施策内容を具体化し、次期計画の骨子を作成。第88回卸売市場審議会へ報告
第9～10回	12月～1月	次期計画（案）のとりまとめ → パブリックコメント等を踏まえ、次期計画をとりまとめ。第89回卸売市場審議会へ答申

2 全体スケジュール



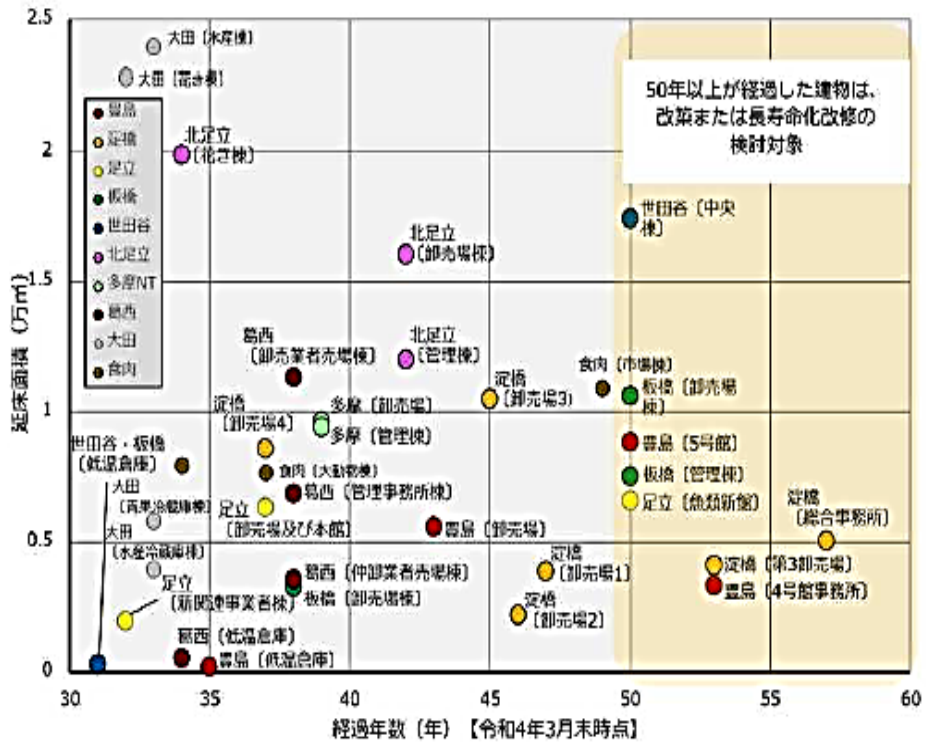
(参考資料)

市場施設の老朽化

- 市場取引を支える施設の多くは高度経済成長期に建設されており、老朽化が進行
- すべての施設を更新するためには、巨額のコストが必要

【市場施設の状況】

◆ 建設時から30年以上が経過する市場施設 ◆



◆ 劣化度調査結果の概要 ◆

■ 建築 (意匠)

- 屋上は、ルーフトレン付近や目地部などから雑草繁茂や笠木モルタルの剥離等、経年による欠損あり
- 外壁は、ひび割れ等の劣化が相当進行、修復の必要有り



■ 躯体 (構造)

- 新耐震※1の施設では、コンクリート強度試験の結果、設計基準強度を上回り、十分な強度が確保
- 旧耐震※2の施設 (耐震補強済) では、一部で設計強度以下の部分もあり、躯体の防水や塗装などの改修が必要

※1 昭和 56 年6月1日以後の耐震基準 ※2 昭和 56 年6月1日見直し前の耐震基準

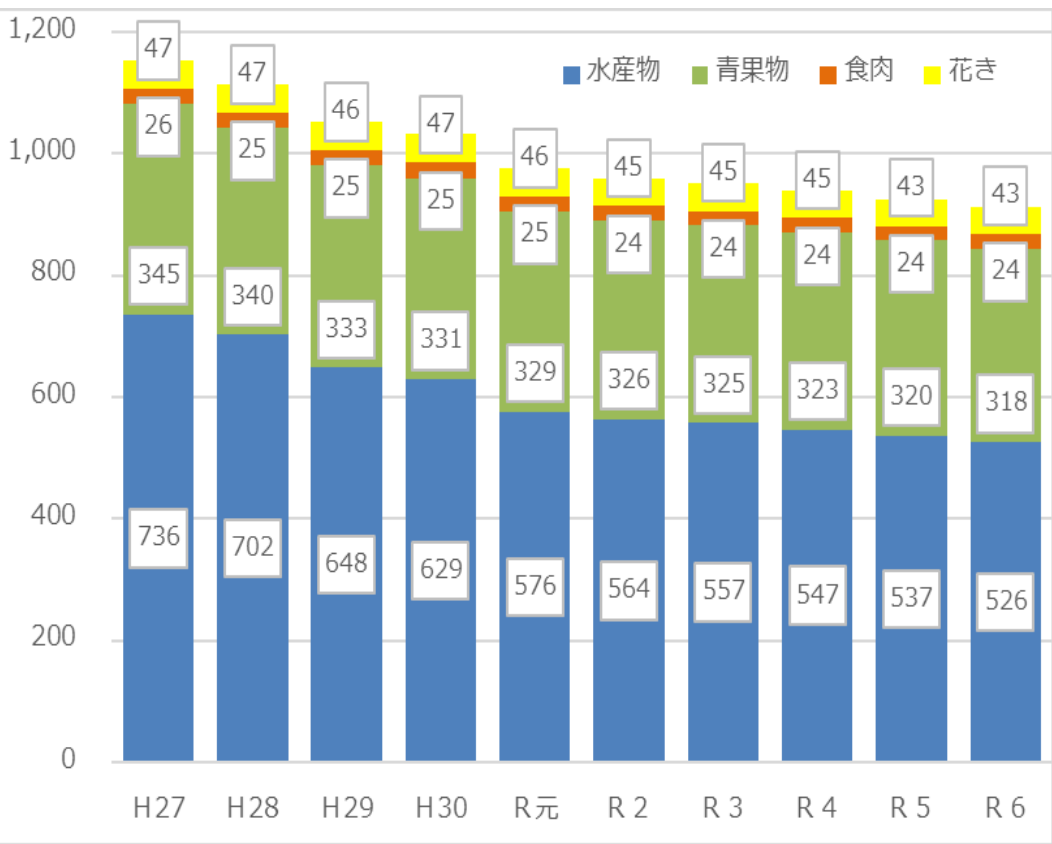
今後、必要性や優先度等を検証した上で建物ごとに改修や建て替え等の方針を決定

市場業者の経営状況（業者数）

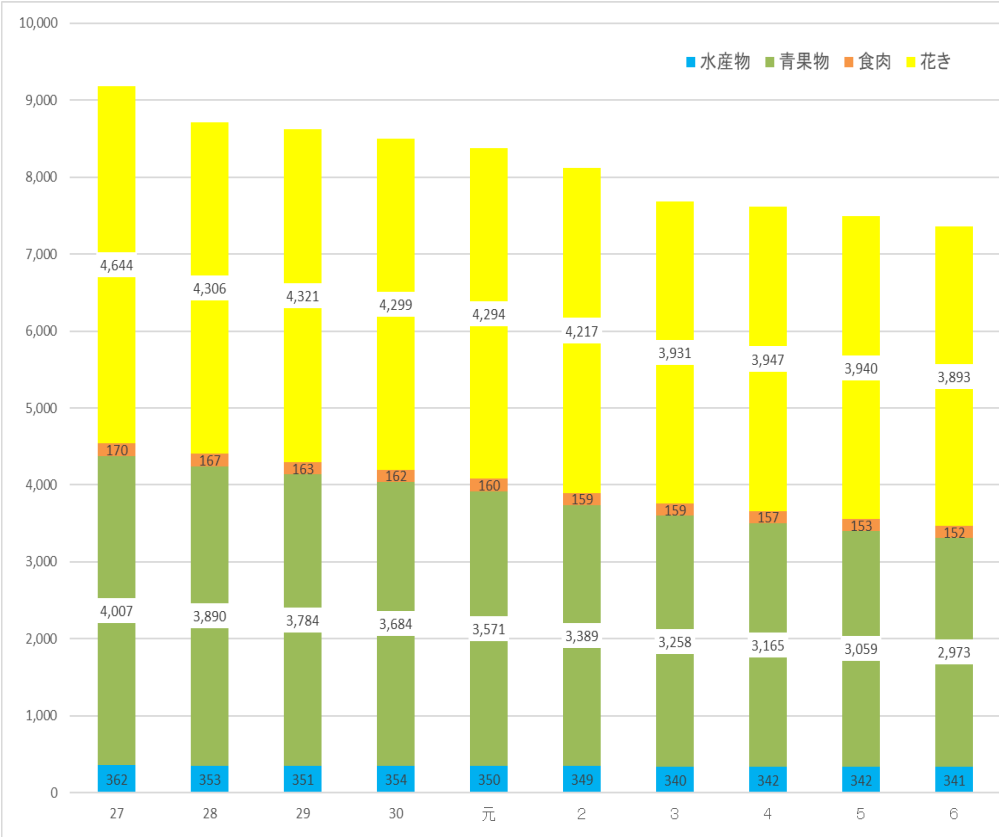
【過去10年間の推移】

- 市場取引の担い手である市場業者（特に仲卸業者など）の数は、減少傾向
- 卸売業者数はH27と比して現状変更なし（全33社）

仲卸業者数の推移

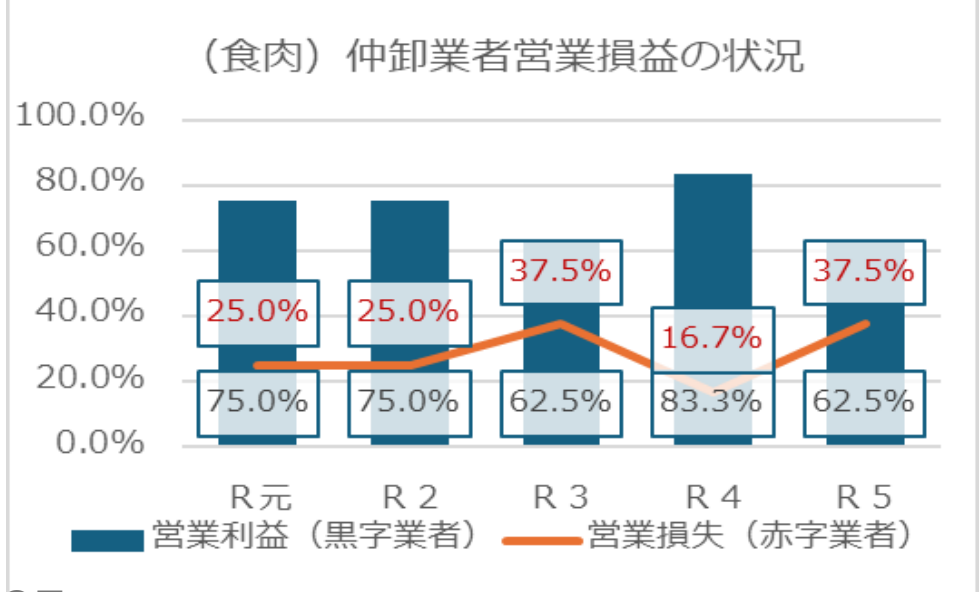
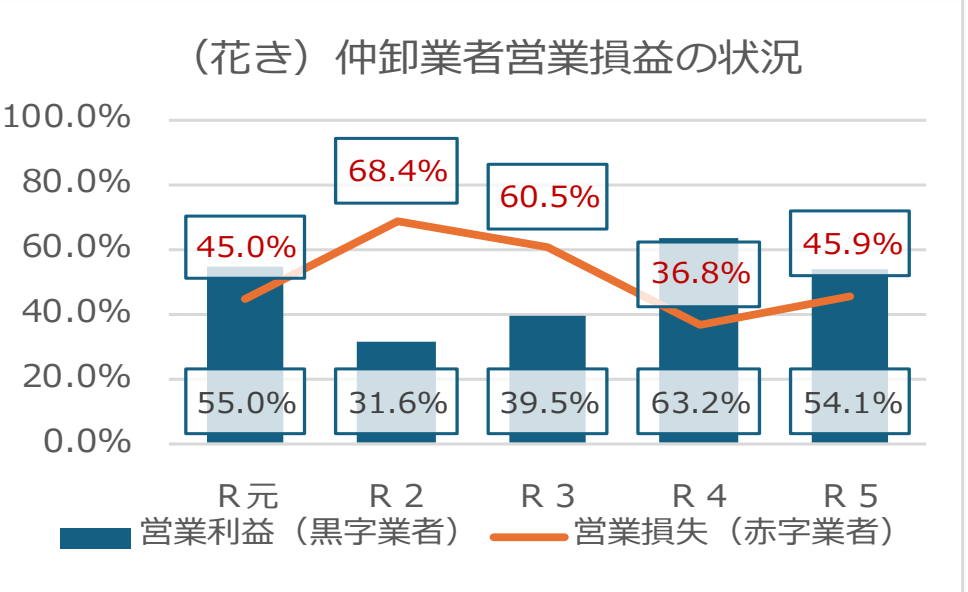
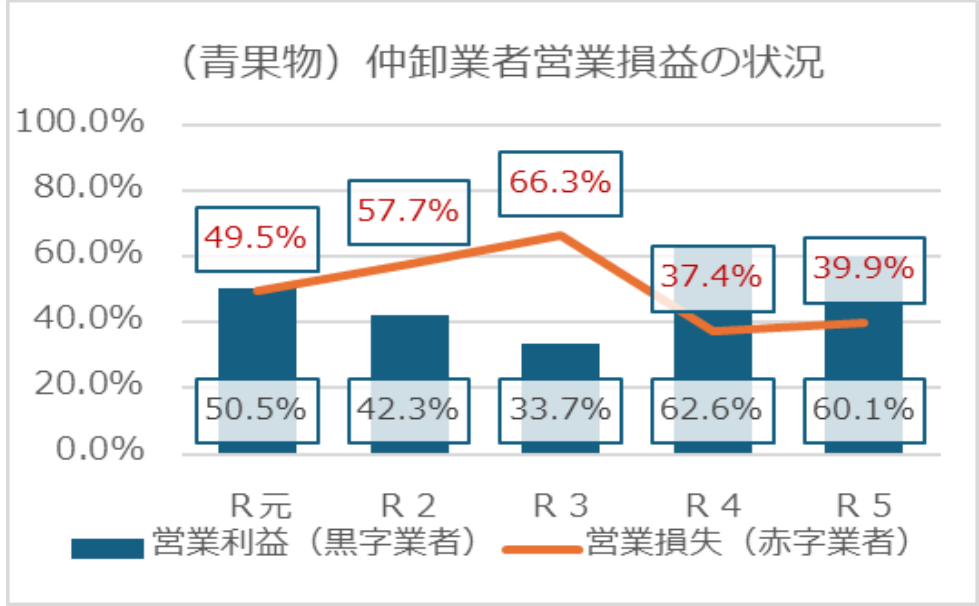
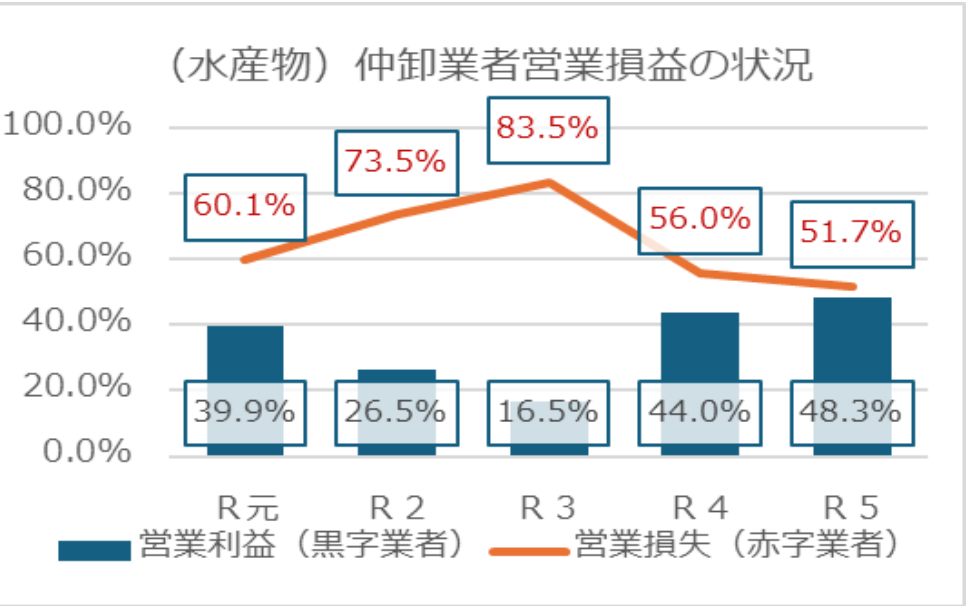


売買参加者の数推移



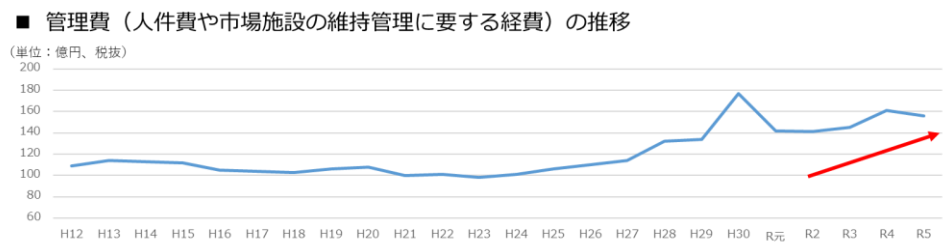
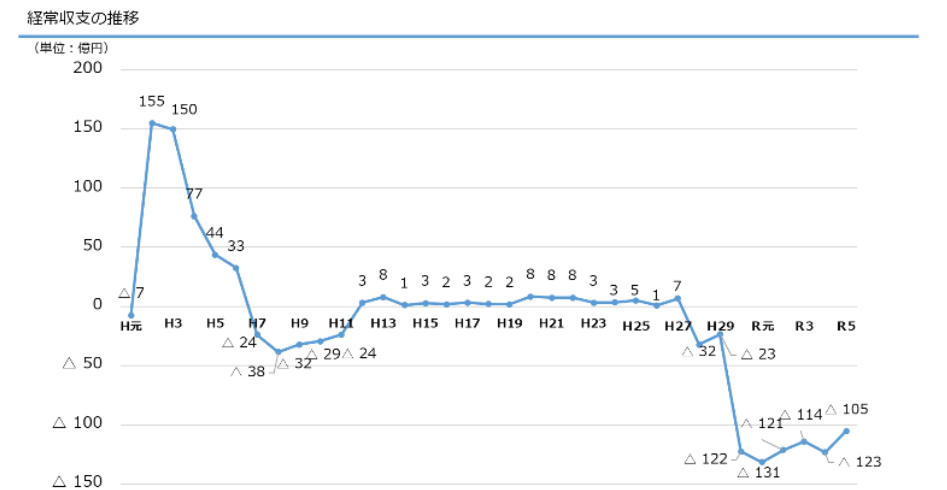
市場業者の経営状況（仲卸）

○ 仲卸業者をはじめとして、市場取引の担い手である市場業者の経営環境は厳しい。



市場会計の状況

- 近年、卸売市場の取扱金額は増加傾向（次項参照）にあるが、取扱数量や取扱金額の劇的な回復は期待できない中、市場会計の経常収支は恒常的に赤字
- 物価高騰などの影響を受け、人件費や市場施設の維持管理に要する経費が増加傾向



■ 管理費増加の内、物価高騰が要因の主な経費

➢ 光熱水費

—電気料金等の単価上昇等に伴う増加

光熱水費の推移 (H12 = 100)

年度	光熱水費 (H12 = 100)
H12	100
H13	100
H14	155
H15	150
H16	77
H17	44
H18	33
H19	△24
H20	△38
H21	△32
H22	△29
H23	△24
H24	3
H25	8
H26	1
H27	3
H28	2
H29	3
H30	8
R1	8
R2	3
R3	5
R4	1
R5	7

➢ 営繕費

—労務単価等の上昇等に伴う増加

営繕費の推移 (H12 = 100)

年度	営繕費 (H12 = 100)
H12	100
H13	100
H14	155
H15	150
H16	77
H17	44
H18	33
H19	△24
H20	△38
H21	△32
H22	△29
H23	△24
H24	3
H25	8
H26	1
H27	3
H28	2
H29	3
H30	8
R1	8
R2	3
R3	5
R4	1
R5	7

➢ 人件費

—職員数の減に伴う人件費の減

人件費の推移 (H12 = 100)

年度	人件費 (H12 = 100)
H12	100
H13	100
H14	155
H15	150
H16	77
H17	44
H18	33
H19	△24
H20	△38
H21	△32
H22	△29
H23	△24
H24	3
H25	8
H26	1
H27	3
H28	2
H29	3
H30	8
R1	8
R2	3
R3	5
R4	1
R5	7

市場会計における今後の課題

目標：持続可能な市場経営の実現に向けて

- 課題①：費用縮減
- (これまでの取組)
 - 市場運営費の縮減や、新規企業債の発行抑制による支払利息の圧縮 (今後の取組)
 - 民間経営手法の活用（アウトソーシングの拡大等）に関する検討
- 課題②：収入確保
- (これまでの取組)
 - 未利用施設について、市場業者による利用促進を推進
 - 使用料以外の財源（一般会計の繰入れ、国庫補助金）の見直し (今後の取組)
 - 未利用施設の洗い出しと活用に関する検討



- 今後の課題：更なる経営改善の取組
- (今後の取組)
 - 市場会計の精緻な経営分析・検証と意見交換の実施

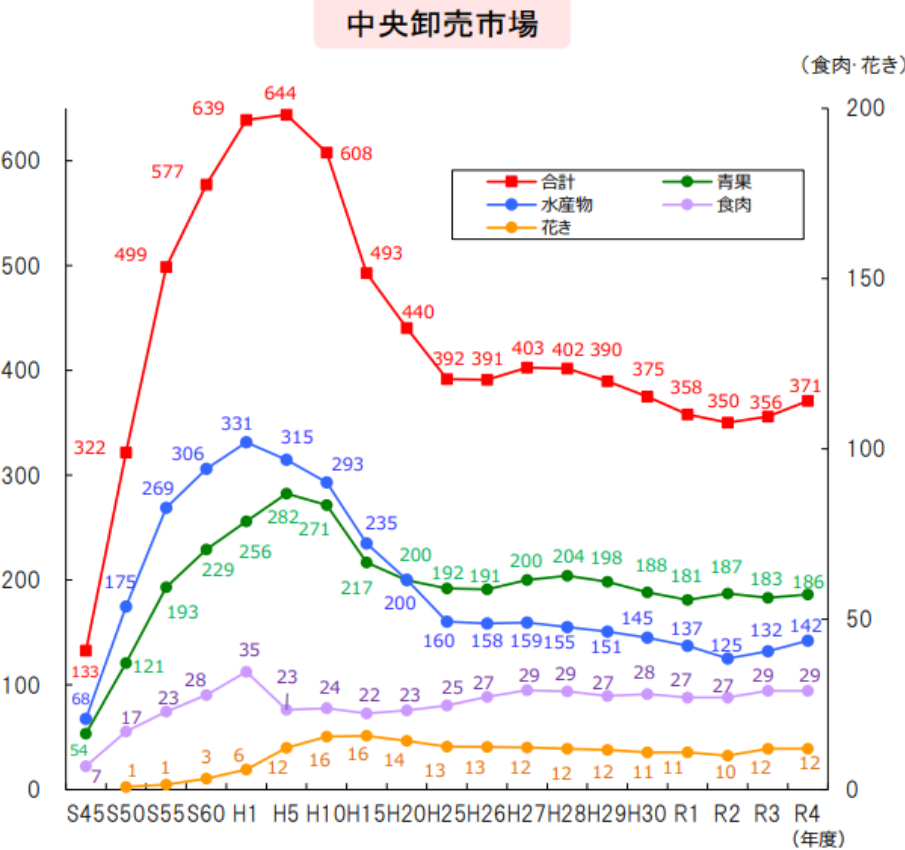
(出典)「経営計画」等より作成

○

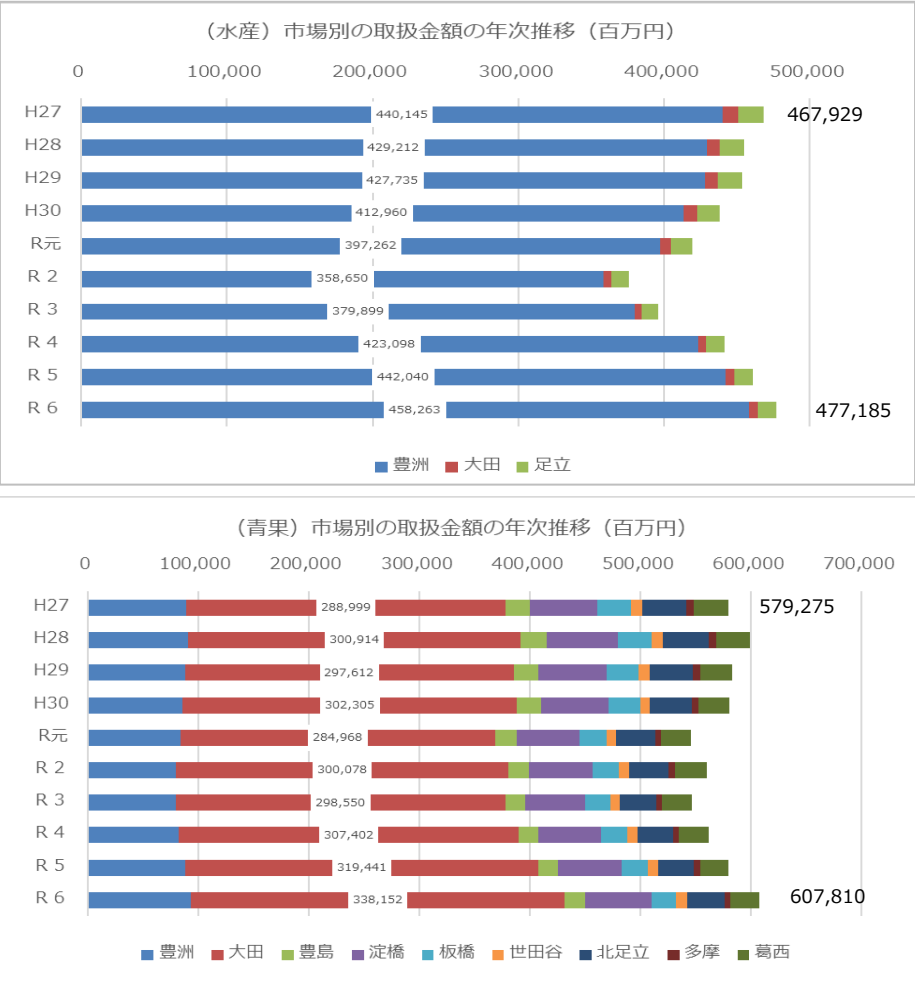
都の中央卸売市場における取扱金額は、近年、水産物・青果物ともに増加傾向
 （対H27比 【水産物】約2.0%増 【青果物】約4.9%増）

全国の中央卸売市場における取扱金額/百億円

■取扱金額の推移(単位:100億円)



都の中央卸売市場における取扱金額/百万円（水産・青果）



東京都中央卸売市場,市場統計情報より作成

注1. S45年度の中央卸売市場の取扱金額の合計値には花きの取扱金額は含まない。
 2. 取扱金額の合計値には、その他の取扱金額を含む。

(出典) 「卸売市場をめぐる情勢について」農林水産省

